



ペプチドで元気を世界へ

# FunPep Report

2025年12月期(第13期)

2025年1月1日～2025年12月31日

株式会社ファンペップ

証券コード:4881



独自のペプチド技術を応用した皮膚潰瘍治療薬とアレルギーワクチンの実用化に向け、臨床試験は着実に進められています。

代表取締役社長 三好 稔美

皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

## 2025年度の振り返り

2025年は当社の開発パイプラインの柱である2つのプロジェクトで大きな進展がありました。まず、皮膚潰瘍を対象疾患として開発中の「SR-0379」における追加第III相臨床試験で、被験者へ治療薬の投与が3月に開始されました。また、アレルギーワクチン「FPP004X」でも4月に第I相臨床試験で治療薬の投与が開始され、いずれもこれまでのところ概ね計画通りに進捗しております。

「SR-0379」は、血管新生や肉芽形成促進による創傷治癒促進作用に加え、抗菌活性を併せ持つことが強みの機能性ペプチドです。高齢化が進み、今後さらに患者が増えていくことが見込まれる褥瘡や糖尿病性潰瘍等の皮膚潰瘍の早期回復を促進し、患者様のQOL向上に貢献することが期待されています。2024年12月に追加第III相臨床試験を開始し、2025年12月に目標症例数(142例)の半数の登録が完了しました。

アレルギーワクチン「FPP004X」は、花粉症の原因となるIgE

抗体の働きを阻止することで、アレルギー反応を抑えるワクチンです。花粉が飛散する前に投与すれば、シーズンを通して症状を緩和させることが可能で、患者様にとって利便性の高い新しい治療選択肢を提供できると考えております。2025年3月に第I相臨床試験を開始し、10月には治療薬の投与が完了しております。

## 2026年度の見通し

「FPP004X」は、現在進めている第I相臨床試験について2026年下期に結果がわかります。「SR-0379」は、引き続き追加第III相臨床試験を進め、2027年上期に結果を公表することを目指しております。また、片頭痛、脂質異常症、アルツハイマー病や心不全などの慢性疾患を対象として、新規開発化合物の探索研究を進め、開発パイプラインの一層の強化と企業価値の向上につなげていきます。当社は「患者様が日々の生活の中で使いやすく、有効性も高くお求めやすい治療薬」を世界に届けることで、医療の発展に貢献してまいりたいと考えております。

皆様におかれましては、今後ともより一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

# 抗体誘導ペプチド

次世代ワクチン技術「抗体誘導ペプチド」を難治性疾患の治療に応用し、患者様のニーズに応える医療薬品開発に邁進しています

これまでのワクチンはウイルスや細菌等の「異物」を排除するための感染症予防ワクチンでしたが、当社は、独自の機能性ペプチド「AJP001」をコア技術として用いることにより(体内の疾患関連タンパク質をターゲットとする)慢性疾患に対する治療ワクチン「抗体誘導ペプチド」の研究開発に取り組んでいます。

抗体誘導ペプチドの特徴は、体内で免疫細胞が抗体を産生するため効果が長く持続することです。慢性疾患の治療には様々な飲み薬や塗り薬、注射薬が使用されていますが、効果の持続性に優れた抗体誘導ペプチドを使用することで数ヶ

月に一度の注射によって治療効果が持続し、患者様の服薬アドヒアランス(服薬遵守)改善と利便性向上によるQOL(Quality Of Life、生活の質)向上が期待されます。

また難治性の慢性疾患分野においては、化学合成で製造可能な抗体誘導ペプチドを高額の抗体医薬品に対して医療費を抑制できる代替薬として開発し、先進国で深刻化する医療財政問題の解決や患者様の経済的負担の低減に貢献していきたいと考えております。

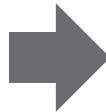
## 感染症予防ワクチンと抗体誘導ペプチドの違い

### 感染症 予防ワクチン

体にとって異物なので  
免疫が反応して抗体が作られる



ワクチンには、ウイルス(全体や一部)等を用いる



### 慢性疾患 治療ワクチン 抗体誘導ペプチド

体の中の疾患関連タンパク質に対する  
抗体を作り出し、疾患を治療する



免疫を向上させるペプチド「AJP001」を用いる

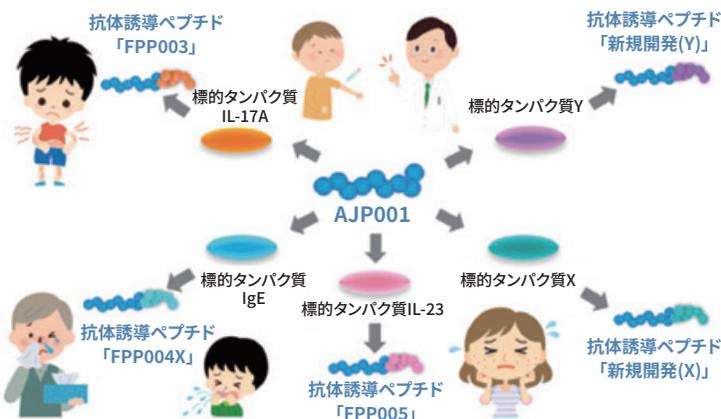
# 当社の強み

大阪大学大学院医学系研究科の研究成果である機能性ペプチド「AJP001」を用いた抗体誘導ペプチドの創薬プラットフォーム技術「STEP UP」※を保有していることが当社の強みです。

免疫防御システムの一翼を担う「抗体」は、医薬品の標的タンパク質(自己タンパク質)に対しては通常体内で産生されませんが、当社は免疫反応を引き起こす機能を持つ「AJP001」を使って抗体誘導ペプチドを設計することにより「抗体」産生を誘導しています。

当社は、この創薬プラットフォーム技術により既存の抗体医薬品の標的タンパク質等に対する様々な抗体誘導ペプチド

を創出し、(既存抗体医薬品の知見により)開発リスクが低減された研究開発活動を行っております。



※創薬プラットフォーム技術「STEP UP」の詳しい説明は、「2025年12月期 有価証券報告書」をご覧ください。

## 皮膚潰瘍治療薬「SR-0379」

褥瘡等の皮膚潰瘍患者様のQOL向上を目指した医薬品開発を進めています

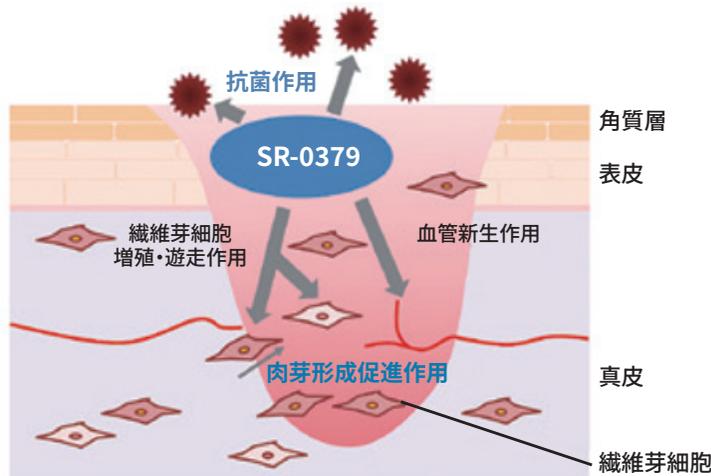
SR-0379は、寝たきりの高齢者に発生することが多い褥瘡(床ずれ)等の皮膚潰瘍を対象疾患とする機能性ペプチドの開発化合物です。

皮膚のバリア機能が欠損して様々な細菌が創面に付着している皮膚潰瘍の治療には、細菌、感染のコントロールが重要です。SR-0379は、血管新生や肉芽形成促進による創傷治療促進作用に加え、抗菌活性を併せ持つことが強みです。

当社は、SR-0379の開発により、褥瘡等の皮膚潰瘍の早期回復を促進し、患者様のQOL (Quality Of Life、生活の質) 向上に貢献することを目指しております。

現在、塩野義製薬株式会社との共同開発を進めています。

### SR-0379の作用メカニズム



# 研究開発パイプライン

当社は独自の創薬技術を強みに抗体誘導ペプチドを中心に研究開発パイプラインの拡充を図っています。  
開発品

種類	開発品	対象疾患	臨床試験 実地試験	探索研究	前臨床	臨床実験			導出先等
						第I相	第II相	第III相	
機能性ペプチド	SR-0379	皮膚潰瘍	日本	第III相臨床試験(O2試験)					塩野義製薬(株) (全世界のライセンス契約)
抗体誘導ペプチド	FPP003 (標的:IL-17A)	乾癬	豪州	第I/IIa相臨床試験					未定
		強直性脊椎炎	日本	医師主導治験 第IIa相					
	FPP004X (標的:IgE)	花粉症 (季節性アレルギー性鼻炎)	日本	第I相臨床試験					塩野義製薬(株) (全世界のオプション契約)
	FPP005 (標的:IL-23)	乾癬	—	前臨床					未定

## 研究テーマ

種類	対象疾患	提携企業
抗体誘導ペプチド	精神神経疾患	住友ファーマ(株)
	片頭痛、高血圧、抗血栓	未定
	脂質異常症、アルツハイマー病、心不全	

(2026年2月12日現在の状況です)

## ビジネスモデル

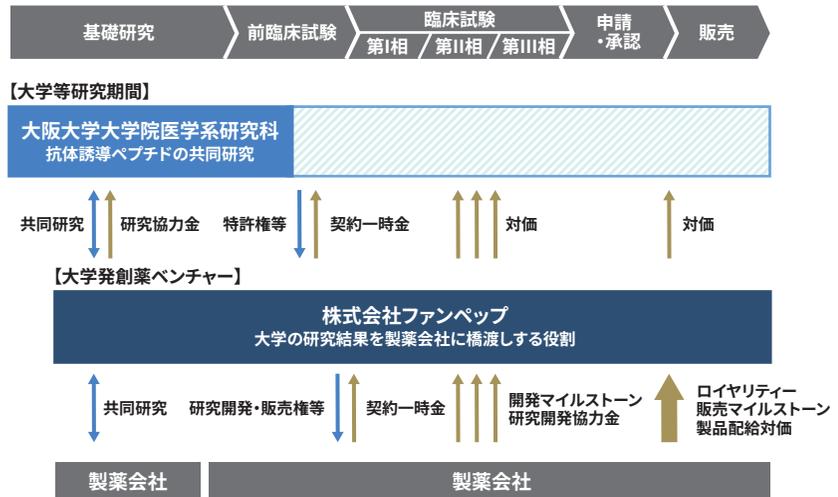
当社は、大阪大学発の創薬ベンチャーです。

大学の研究成果を製薬会社への橋渡しに向けてインキュベート(研究開発を推進)する役割を担っています。

製薬会社から提携収入を受取りながら研究開発を進め、当社開発品の発売後に製薬会社からの製品販売額に応じたロイヤリティ収入等によって利益拡大を実現する計画です。

また、医薬品以外の事業分野については、子会社の株式会社ファンペップヘルスケアを通し、機能性ペプチドの特徴を活かした製品開発に取り組んでいます。

### 医薬品研究開発プロセスと大学発創薬ベンチャーの役割



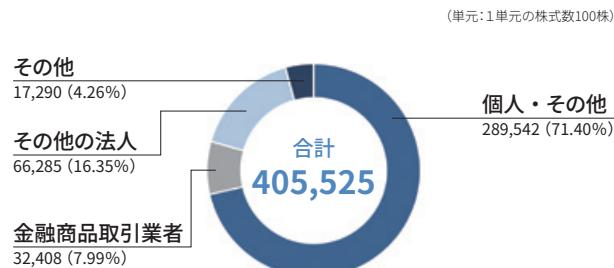
## 決算情報

(2025年12月期)

連結損益計算書		その他主な経営指標等	
(単位:百万円)			
事業収益	0	現金及び預金	1,768
事業費用	1,648	株主資本	1,440
(内、研究開発費)	(1,296)	総資産額	1,980
営業損失(△)	△1,648	自己資本比率	72.7%
経常損失(△)	△1,633		
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)	△1,911		

## 所有者区別株式数

(2025年12月31日現在)



(注) 上記以外に単元未満株11,300株があります。

## 会社概要

(2025年12月31日現在)

商号	株式会社ファンペップ (英名: FunPep Company Limited)	
設立	2013年10月11日	
資本金	3,716百万円	
従業員	15名	
役員	代表取締役社長	三好 稔美
	取締役 研究開発部長兼CSO	富岡 英樹
	取締役 管理部長兼CFO	林 毅俊
	取締役(社外)	柴木 憲和
	取締役(社外)	原 誠
	常勤監査役(社外)	堀口 基次
	監査役(社外)	眞鍋 淳也
	監査役(社外)	樋口 尚文

## 株式の状況

(2025年12月31日現在)

発行可能株式総数	56,000,000株
発行済株式総数	40,563,800株
株主数	12,648名

## 株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
単元株式数	100株
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	フリーダイヤル: 0120-782-031 (受付時間: 土・日・休日を除く9:00~17:00)
公告方法	電子公告により行う ※ただし、事故その他やむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に掲載します。

株式会社ファンペップ

証券コード: 4881

<https://www.funpep.co.jp/>